

漆喰より漆喰らしいセメント系仕上げ材

高性能耐水漆喰壁

~人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい~

高性能耐水漆喰壁

漆喰風仕上げ材である「シーエル5」表面の表情よりソフトできめ細かな仕上がりと更なる白さをアップさせる為の新素材を加味して、本来の漆喰より漆喰らしく、落ち着きと気品を持った壁材として新開発した白色セメント系のモルタルです。

〔 目 的 〕

この施工マニュアルは高性能耐水漆喰壁の塗り工事における品質基準の確保と低亀裂性、耐久性等を追及する為のものです。

〔 用 途 〕

従来の漆喰の欠点を補い、耐水と下地の対応を主力に、本漆喰により近い白さと気品、高級感を求められた施工現場に最適な仕上げ材です。

〔 適 用 下 地 〕

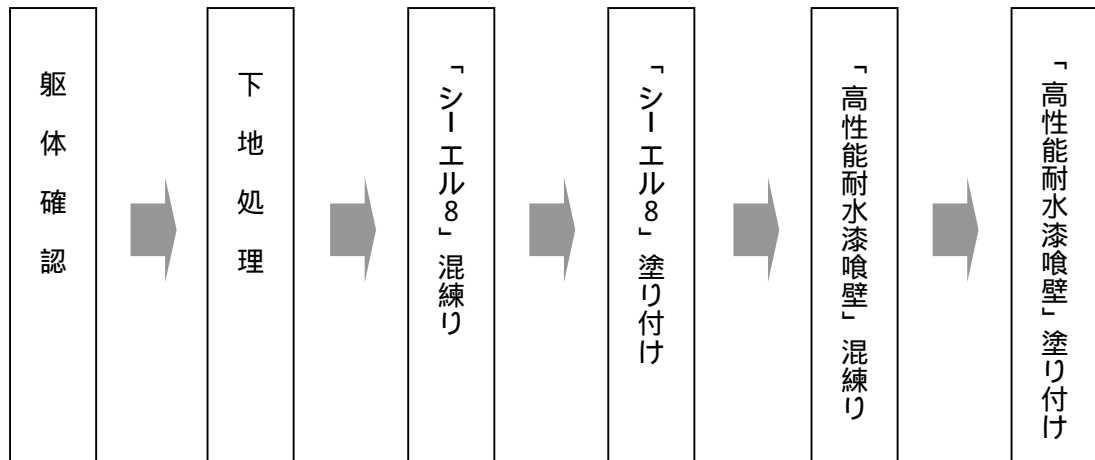
・モルタル ・コンクリート ・ALC版 ・プラスターボード下地

表記適用下地に「シーエル8」を中塗りしてからの施工が原則です。

〔 使 用 材 料 〕

「高性能耐水漆喰壁」	15kg (防湿紙袋入り)
「シーエル8」	20kg / 防湿紙袋入り 全て白色仕上材
「NICE ラテックス」(高性能アクリル樹脂)	/ 18kg 缶入り、4 kg, 1 kg ポリ容器入り
「シーラーN #45」(高性能エチレン酢ビ共重合エマルジョン)	/ (18kg 缶入り、4 kg, 1 kg ポリ容器入り) 全て吸水調整剤、およびモルタル接着増強剤
「CLタフガード」	ビニロン繊維のFRC補強メッシュ、 幅〔1 m、33 cm、20 cm、10 cm〕の4種類 全て 100 m 巻き

〔施工工程〕



〔施工方法〕

施工時から最終の仕上げ工事までの予想平均気温が5 ～ 35 の範囲の時季に施工してください。

モルタル下地の場合

シーエル8 塗り付け

躯体確認

- 1) モルタル仕上げに施工する際には、中塗りのモルタルの表面がフラットに仕上がっているか、硬化不良、浮き、ひび割れなど「シーエル8」の塗りに支障がないかを点検し、支障のある場合は管理者と協議の上適切な処置を講じて下さい。
- 2) 施工前に躯体温度が5 ～ 40 の範囲内（適正温度）であるか確認し、範囲外であれば水打ち、シート養生等して適正な温度にして下さい。

躯体が高温度の場合、ドライアウト、亀裂、浮き、剥離、剥れ等の原因となり、低温度の場合接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華等の原因となります。

下地処理

- 1) 下地モルタルと「シーエル8」との界面の付着強化を増強するために、モルタル表面のエフロ除去を徹底して下さい。
- 2) さらに「シーラーN #45」の3倍液(「シーラーN #45」 1 : 清水 2)を壁面全体に充分塗布し、乾燥させて下さい。
 - 1) は「シーラーN #45」の10倍液を作り刷毛、ブラシで壁面を掃きながら、エフロ除去はもちろんのこと、ドライアウトも併用して防御して下さい。

混練り

標準調合

「シーエル8」..... 1袋(20kg)	「NICE ラテックス」..... 1kg	清水..... 4
-----------------------	-----------------------	-----------

- 1) まず、バケツ等の容器に清水4を入れ、続いて「NICE ラテックス」を1kg入れて良くかき混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水(あらかじめ「NICE ラテックス」を希釈した水溶液)をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「シーエル8」を加えながら混練りして下さい。
- 3) ついで残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。

塗り付け

- 1) 中塗りモルタルの表面確認後、良く混練りされた「シーエル8」をシゴキ塗りし、追っかけて3mm~4mm程度の塗り厚で平滑に塗り付けて下さい。

「高性能耐水漆喰壁」、「シーエル5」等、仕上材の下地として施工の場合は「養生期間を1日」置いてから仕上材の施工をして下さい。

高性能耐水漆喰壁塗り付け

混練り

標準調合

高性能漆喰壁	1袋(15kg)	NICE ラテックス	0.5kg	清水	約6
--------	----------	------------	-------	----	----

- 1) まず、バケツ等の容器に清水6 を入れ、続いて「NICE ラテックス」を0.5kg入れて良く練混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水(あらかじめ「NICE ラテックス」を希釈した水溶液)をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「高性能耐水漆喰壁」を加えながら混練りして下さい。
- 3) ついで残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。
規定水量以上の清水で混練りすると亀裂の原因やエフロが発生し易くなります。ご注意ください。

塗り付け

- 1) 「シーエル8」の表面状況を確認後下地とのなじみを良くし、尚且つブツの発生を抑える為鍍圧を十分かけてシゴキ塗りし、追っかけて所定の塗り厚1mm~2mm程度、平滑に塗り付けて下さい。
- 2) 水引の頃合いを見計らって平滑に仕上げして下さい。
鍍仕上げの場合はモルタルが鍍焼けしないステンレス鍍かプラスチック鍍で仕上げして下さい。

コンクリート下地

シーエル8塗り付け

躯体確認

- 1) コンクリートに施工する際には壁面のピンホール、ジャンカ、段違い面などが綺麗になおかつフラットに補修してあるか、また、硬化不良、浮き、ひび割れなど「シーエル8」の塗りに支障がないか点検し、支障のある場合は管理者と協議の上適切な処置を講じて下さい。
- 2) 施工前に躯体温度が5 ~ 40 の範囲内(適正温度)であるか確認し、範囲外であれば水打ち、シート養生等して適正な温度にして下さい。
躯体が高温度の場合、ドライアウト、亀裂、浮き、剥離、剥れなどの原因となり、低温度の場合接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華等の原因となります。

下地処理

- 1) 下地補修材と「シーエル8」との界面の付着強化を増強するために、モルタル表面のエフロ除去を徹底して下さい。
- 2) さらに「シーラーN #45」の3倍液（「シーラーN #45」 1 : 清水 2）を壁面全体に充分塗布し、乾燥させて下さい。
 - 1) は「シーラーN #45」の10倍液を作り刷毛、ブラシで壁面を掃きながら、エフロ除去はもちろんのこと、ドライアウトも併用して防御して下さい。

混練り

「シーエル8」の標準調合

「シーエル8」..... 1袋 (20kg)	「NICE ラテックス」..... 1 kg	清水..... 4
------------------------	------------------------	-----------

- 1) まず、バケツ等の容器に清水4 を入れ、続いて「NICE ラテックス」を1kg 入れて良くかき混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水（あらかじめ「NICE ラテックス」を希釈した水溶液）をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「シーエル8」を加えながら混練りして下さい。
- 3) ついで残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。

塗り付け

- 1) 中塗りモルタルの表面確認後、良く混練りされた「シーエル8」をシゴキ塗りし、追っかけて3mm～4mm程度の塗り厚で平滑に塗り付けて下さい。

「高性能耐水漆喰壁」、「シーエル5」等、仕上材の下地として施工の場合は「養生期間を1日」置いてから仕上材の施工をして下さい。

高性能耐水漆喰壁塗り付け

混練り

標準調合

高性能漆喰壁	1袋(15kg)	NICE ラテックス	0.5kg	清水	約6
--------	----------	------------	-------	----	----

- 1) まず、バケツ等の容器に清水6 を入れ、続いて「NICE ラテックス」を0.5kg 入れて良く練混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水(あらかじめ「NICE ラテックス」を希釈した水溶液)をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「高性能耐水漆喰壁」を加えながら混練りして下さい。
- 3) ついで残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。
規定水量以上の清水で混練りすると亀裂の原因やエフロが発生しやすくなります。ご注意ください。

塗り付け

- 1) シーエル8 の表面状況を確認後下地とのなじみを良くし、尚且つブツの発生を抑える為鏝圧を十分かけてシゴキ塗りし、追っかけて所定の塗り厚 1mm~2mm 程度、平滑に塗り付けて下さい。
- 2) 水引の頃合いを見計らって平滑に仕上げして下さい。
鏝仕上げの場合はモルタルが鏝焼けしないステンレス鏝かプラスチック鏝で仕上げして下さい。

「ALC版(軽量発泡コンクリート)」下地の場合

シーエル8塗り付け

躯体確認

- 1) ALCパネルの表面の通りが極力凸凹のないように真っすぐにして下さい。
- 2) ALCパネルの表面のほこり、ひび割れなど「シーエル8」の塗りに支障がないか点検し、支障のある場合は監理者と協議のうえ適切な処置を講じて下さい。
ほこりの清掃は施工日当日、ひび割れがある場合は、2~3日前に補修をして下さい。
施工前に躯体温度が5~40 の範囲(適正温度)であるか確認し、範囲外であれば、水打ち、シート養生などをして適正な温度にして下さい。

躯体が高温の場合、ドライアウト、亀裂、クラック、浮き、剥離、などの原因となり低温の場合、接着不良、硬化遅延、ズレ、剥離、白華などの原因となります。

特にひび割れについては瀟水の原因となるおそれがあるため十分注意して下さい。

- 3) ALCパネルのジョイント部のコーキングが十分充填されているか確認し、充填不足が確認された場合は速やかに是正して下さい。

下地処理

- 1) モルタルの付着を強固にするため、ALC版表面のほこり、汚れ、油分などをブラシ、サンドペーパー等を用いて除去して下さい。

- 2) ALC版面の吸水調整のため、下地清掃後に「シーラーN #45」の4倍液～5倍液を刷毛やローラー等でダレ、塗り残しの無い様均一に塗布してください。

吸水調整材塗布後、長時間放置すると埃等が付着し、モルタルの接着を阻害する恐れがあるので、3日以内には「シーエル8」を塗り付けて下さい。

混練り

「シーエル8」の標準調合

「シーエル8」..... 1袋(20kg)	「NICEラテックス」..... 1kg	清水..... 4
-----------------------	----------------------	-----------

- 1) まず、バケツ等の容器に清水4を入れ、続いて「NICEラテックス」を1kg入れて良くかき混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水(あらかじめ「NICEラテックス」を希釈した水溶液)をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「シーエル8」を加えながら混練りして下さい。
- 3) ついで残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。

塗り付け

(目地部の処理と下塗り)

- 1) 混練りされた「シーエル8」を表面が均一になる様ALC版のジョイント部に塗り付けして下さい。

- 2) さらに「CLタフガード」を適当な長さに切断してジョイント部に貼り付け鏝で押さえ込んでネットをサンドイッチ状にして下さい。(養生期間 1 日)
- 3) ジョイント部の乾燥を確認してから壁面全体に混練りされた「シーエル 8」を 3 ~ 4 mm 塗り付け、水引の頃合いを見計らって平滑にして下さい。
「高性能耐水漆喰壁」、「シーエル 5」等、仕上材の下地として施工の場合は「養生期間を 1 日」置いてから仕上材の施工をして下さい。

高性能耐水漆喰壁塗り付け

混練り

標準調合

高性能漆喰壁	1 袋 (15kg)	NICE ラテックス	0.5kg	清水	約 4
--------	------------	------------	-------	----	-----

- 1) まず、バケツ等の容器に清水 4 を入れ、続いて「NICE ラテックス」を 0.5kg 入れて良く練混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水(あらかじめ「NICE ラテックス」を希釈した水溶液)をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「高性能耐水漆喰壁」を加えながら混練りして下さい。
- 3) ついで残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。
規定水量以上の清水で混練りすると亀裂の原因やエフロが発生し易くなります。ご注意下さい。

塗り付け

- 1) シーエル 8 の表面状況を確認後下地とのなじみを良くし、尚且つブツの発生を抑える為鏝圧を十分かけてシゴキ塗りし、追っかけて所定の塗り厚 1mm ~ 2mm 程度、平滑に塗り付けて下さい。
- 2) 水引の頃合いを見計らって平滑に仕上げして下さい。
鏝仕上げの場合はモルタルが鏝焼けしないステンレス鏝かプラスチック鏝で仕上げして下さい。

「石膏ボード下地」の場合

シーエル8 塗り付け

躯体確認

- 1) 石膏ボードは厚み 12.5mm 以上をご使用下さい。
- 2) 石膏ボードの取り付けは専用ビスを使用し、下地柱、胴縁にしっかり固定して下さい。

ボードは表面が極力平滑になる様下地を調整して取り付けして下さい。

ボードはダブル張りを原則としますが、出来ない場合は必ず縦横共に 5mm の目通しを作って取り付けして下さい。

この場合ボードの目通し部分の動きが無いように受木を設ければジョイント部分のクラック、亀裂の発生を更に防ぐ事が出来ます。

下地処理

- 1) 石膏ボードの取り付け状態、欠損、歪み等が無い事を確認し、5mm の目通しのあるジョイント部に目地テープを貼り付けて下さい。

混練り

「シーエル8」の標準調合

「シーエル8」..... 1袋 (20kg)	「NICE ラテックス」.....1.5 kg	清水.....3.5
------------------------	-------------------------	------------

- 1) まず、バケツ等の容器に清水 3.5 を入れ、続いて「NICE ラテックス」を 1.5kg 入れて良くかき混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水（あらかじめ「NICE ラテックス」を希釈した水溶液）をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「シーエル8」を加えながら混練りして下さい。
- 3) ついで残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。

塗り付け

- 1) 良く混練りされた「シーエル8」をジョイント部の目地テープに鏝圧をかけて押さえ込み、目通し部分に「シーエル8」を十分充填して下さい。
- 2) 追っかけて壁面全体をシゴキ塗りし、所定の塗り厚3～4mm程度を極力平滑に塗り付けて下さい。(養生期間1日)

高性能耐水漆喰壁塗り付け

混練り

標準調合

高性能漆喰壁	1袋(15kg)	NICE ラテックス	0.5kg	清水	約6
--------	----------	------------	-------	----	----

- 1) まず、バケツ等の容器に清水6を入れ、続いて「NICE ラテックス」を0.5kg入れて良く練混ぜ混合水を作ります。
- 2) 標準水量より少なめの混合水(あらかじめ「NICE ラテックス」を希釈した水溶液)をバケツもしくはミキサー等の混練り容器にとり、「高性能耐水漆喰壁」を加えながら混練りして下さい。
- 3) ついで残りの混合水を少量ずつ加えて混練りし、適度の軟度に調整して下さい。
規定水量以上の清水で混練りすると亀裂の原因やエフロが発生し易くなります。ご注意ください。

塗り付け

- 1) シーエル8の表面状況を確認後下地とのなじみを良くし、尚且つブツの発生を抑える為鏝圧を十分かけてシゴキ塗りし、追っかけて所定の塗り厚1mm～2mm程度、平滑に塗り付けて下さい。
- 2) 水引の頃合いを見計らって平滑に仕上げして下さい。
鏝仕上げの場合はモルタルが鏝焼けしないステンレス鏝かプラスチック鏝で仕上げして下さい。

使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合品です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練り混ぜないで下さい。なお、混練りには水道水等の清水を使用して下さい。
2. 混練りした材料は夏期 1 時間、冬期 2 時間以内に使用して下さい。練り足しや加水して練り直しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が 5 ～ 35 の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から 6 カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 悪天候（降雨、降雪等）またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

取扱い時の安全対策（概要）

・取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。
2. 製品の保管は、セメント同様の取扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所に移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や混練り材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊運



本社・営業本部	〒546-0003	大阪市東住吉区今川3丁目12番4号	TEL 06-6708-8131	FAX 06-6708-8133
東日本営業部	〒963-8116	福島県石川郡平田村大字西山字水尾111-3	TEL 0247-54-3232	FAX 0247-24-1004
大阪営業部	〒546-0003	大阪市東住吉区今川3丁目12番4号	TEL 06-6708-8131	FAX 06-6708-8133
岡山営業部	〒709-4321	岡山県勝田郡勝央町太平台21番地	TEL 0868-38-4001	FAX 0868-38-7022
京都営業課	〒622-0332	京都府船井郡京丹波町買美広野二ノ切31	TEL 0771-86-0711	FAX 0771-86-0811

URL:<http://www.ho-un.co.jp/>